

(3)

美術館が湯免の高台にオープンして一カ月が過ぎ、日々香月ファンで賑わっております。

遠くは北海道から全国各地より、わざわざ一人の芸術家と作品の出合いを求めて来館されるお客様は絶えません。本当に素晴らしい事だと思いつつ同時に改めて画家の偉大さを知る事が出来ました。

そして何よりも地方の文化が今、まさに全国に向けて発信しはじめ、多くの人びとがこの山陰の小さな町「ふるさと三隅」に足を運び、目を向けて動き出しているのです。

The message from
Y. Kazuki Museum of Misumi
～美術館からのメッセージ～

そこで、これほどまでに「町立香月美術館」が全国から注目される理由はいったい何であるのか、来館者からのメッセージの一部を紹介してみます。

◎メッセージ

※「才能もさることながら、ご家族に対する深い愛に満ちたハイラル通信、様々のユニークなおもちゃ、母子像の小品に私はその原点を見たように思いました。また、人の心にある素朴なもの、限りない愛の泉を感じることが出来たように思いました。」……

※「香月美術館」は、三隅町の山々に囲まれた小高い丘の上に、近代的な中にも落ち着いた建っていました。真新しい館内には数々の作品が展示され、以前見た「シベリヤ・シリーズ」と異なり、温もりのある親しみやすい作品が多く感動しながら鑑賞でした。

何度でも行ってみたいくなる美術館です。……

※今日で三度目です。何度見ても心暖かくなります。素晴らしい感動をありがとうございます。

※私は芸術というものがわからないけど、香月さんの作品からあたたかいものが伝わって来た。

自分の古里を愛せる人は本当にすばらしいと思う。

※あおふかく とらわれびとのふかまりを あきをつま

とみんとりおのそなた
(埼玉県川越市在住)

紹介したものは一部ですが、このように多くの方々から美術館への思いや、ご意見などを自由に書き綴っていただいておりますが、見る人の心に共通して伝わるものは画伯の人柄、温かさや優しさ、人間愛、家族愛であること。

そして、何よりも平和な故郷三隅をこよなく愛し続けた方より書き残されております。

始まったばかりのこの美術館が今後どのように、より多くの人達とかかわり合っているのか、いろいろな課題が多極的にあると思えますが、香月画伯の永遠のテーマ『人間愛』とも言える『平和』を基本に取り組み、心暖かい沢山の作品を私達町民一人ひとりのものとして守り続け、一人でも多くの方々にそして全国に向けてテーマを発信して行きたいものです。

NHK日曜美術館で
全国放送されます

十一月四～五日の二日間にわたり、作家谷川俊太郎氏と詩集「サラダ記念日」で有名な俵万智さんによる日曜美術館のロケが「町立香月美術館」で行われましたのでお知らせします。

◎放送は次のとおりです。

十二月十二日(日)
・午前九時から(約四十五分間)

・再放送は当日午後八時から(約四十五分間)

・NHK教育番組

町立香月美術館も全国に向けて発信しはじめました。是非ご覧下さい。



右から坂倉館長・俵万智さん
谷川俊太郎氏です

